

のに、詩書しかく魚海いおうみのプラナリア

酸欠のうみで孵化した One of them のプラナリア  
とにかく群の薄いところでゆつくり長く息したい

水面直下では生きがい／死骸……の残骸たちが  
潮を紅く沸騰させて地獄ぐらしにいそしんでいる

水底みなそこに降り立てば貝たちの吸水管に吸い込まれ  
砂防思想に濾過され捕食されてしまう

どこまで流れていけども生態系の中は  
生きがい／死骸、の声と声なき声と声の沈黙と声なき沈黙と沈黙の声と沈黙の沈黙に満ちている

酸欠のうみで孵化した One of them のプラナリア  
耐え絶えに息して直感する

言葉は、いま  
立錐の余地もない

のに、ズズ式ズズズと  
死んでいるのに気づかない贅肉たち

のに、さわさわざわざわ  
枯れているのに気づかない落葉たち

のに、しっとりはらりと  
腐っているのに気づかない生け花たち

のに、うざうざうざとく  
意味がないのに気づかない流言飛語たち

のに、印籠これみよこれと  
終わってるのに気づかない遺物たち

のに、パピルスを浪費して  
水汚染するのに気づかないンコたち

「万物は流転する」

古代ギリシャ、哲学者の預言は還流反転して

文明の排泄物を撃ち続ける

大地を耕すな、変成物を施すな  
海を孕ませるな、搔爬させるな

化学物質は十年間復讐し続ける  
海と大気は千年後、

核物質は一万年後でも……

人類の贈り物のお返しをするだろう

そしらぬ顔で蒸散させあるいはたれ流した全てが送り返され

歓喜の甘受の千年が始まるわけだ

何度も死ぬほど、味わえばよい

機械文明の最後の仕事は

千年に一度シャッターを切り

百万年くらい作動する海中カメラを設置することかもしれないね

そうさ

死の海から

再び

ズズ式の生命体が自然発生するのかどうか

記録しておかなければいけないだろう？

酸欠のうみで孵化した One of them のプラナリア

とにかく群のうすーいところで

ススーと息したい

生きて

息苦しい

四海の水底